

1、243冊が家庭へ

せとうち図書リサイクル広場

せとうち図書リサイクル広場が11月6日、邑久町公民館で開かれました。

これは、市内の図書館（室）で古くなり貸し出し対象から外れた本や雑誌、マンガなどを自由に持ち帰ってもらおうというもので、1、303冊がリサイクルに出されました。あいにくの天気にもかかわらず、147人が来場。大人も子どももページをめくって思い思いの本を選び、1、243冊がそれぞれの家庭へと持ち帰られました。

子どもの読書を推進しようと『おはな



好みの本を持ち帰ることができたとあって、大勢の皆さんでにぎわいました

しフェスタも開かれ、市内のボランティアグループ『おはなしみつけ！』の皆さんが、絵本の読み聞かせなどを行い、子どもたちは大喜びでした。

生きる力・学力について討論

瀬戸内市教育の集い

瀬戸内市教育の集いが11月6日、邑久町公民館で開かれました。おかやま教育週間関連行事として行ったもので、教育関係者ら60人が参加。最初に、土井原敏郎山陽小学校長が「生きる力の中で、学力とは何か」と題し基調講演。

それを受け、安達一明邑久高等学校教頭・山崎宗則今城小学校長・西浦千万太市適応指導教室副所長・野

口京子牛窓北小学校PTA・上野保穂市学校教育課長がパネラーとなりパネルディスカッション。学校や家庭での現状を踏まえ、ぶれず、誇りと主体性を持った子どもたちを育てることなど、教育に大切な視点について熱く語られ、参加者はうなずいたりメモをとったりして真剣に耳を傾けていました。



真剣に語り合ったパネルディスカッション

作って食べておいしかったよ

ふれあいアウトドアクッキング

ふれあいアウトドアクッキングが10月16日、長船美しい森で開かれました。

邑久ライオンズクラブ（山口俊範会長）が企画し、120人の親子が参加。棒まきパン・ホイール焼き・ソーセージ・バター作りなどに精を出しました。

ホイール焼き用の玉ネギを薄切りにしたり、バター作りに腕がだるくなるまで生クリー



食卓に置く、黄・緑・赤3色の花を作ったよ！

自分の体見直そう

牛窓で健康フェスタ

牛窓体育館で10月30日、牛窓健康フェスタが開催されました。

テーマは、「人と人とのふれあい みんないきいき 地域の幸せ」。ステージでは歌や踊りが披露され、会場の皆さんと一緒に楽しく体を動かしていました。

健康相談コーナーでは

健康・栄養相談のほか、血圧・体脂肪・骨密度測定もあり、自分の体について再確認。

牛窓産の野菜で作ったカレーや試食コーナーも大人気で、心もお腹も大満足の日でした。



ちびっこまん体操をする子どもたち

栄養バランス考える3食をつくる

行幸小学校が食育に取り組む

行幸小学校（小林正満校長・児童489人）が10月21日、食育関連の授業参観と講演会を開きました。

同校は、平成17・18年度の2年間、文部科学省指定の「食育」についての研究校で、「みゆき3（食3（色）運動）」に取り組んでいます。朝・昼・夕食の3食、黄・緑・赤の

3色の食品群をバランスよくとり、健康な体をつくろうというもの。給食の残量も減りました。

この日は、学年ごとにテーマを決め授業。3年生は3色の食卓の花づくりをしました。家庭に持ち帰って食卓に置き、食の大切さを見直すことにしています。

心一つに響くハーモニー

瀬戸内市中学校音楽発表会

市中学校音楽発表会が11月2日、邑久中学校体育館で開かれました。

市内3中学校の代表が参加。参加した皆さんは、参加できなかった皆さんの分まで頑張ろうと、心一つにして歌い、体育館いっぱいにさわやかで涼やかなハーモニーが響き渡りました。

最後に、全員で『世界に一つだけの花』を合唱し、発表会の幕を下ろしました。指揮者を務めた牛窓中3年の坪井康一朗君（15歳・牛窓町牛窓）は、「学校代表として、気持ちよく歌えた」と満足顔でした。



みんなの心を一つに歌い上げ、聴き手の心をとらえた牛窓中3年の発表